

2014年度 **アルバム・オブ・ザ・イヤー**発表!
Contemporary Jazz Magazine

第39巻第2号(通算第448号)
平成27年1月14日発売
(毎月1回14日発売)

jazzlife

新作発表間近のデイヴィッド・サンボーンに聞く

David Sanborn

サンボーンファンキー・アルト奏法を学ぶ

新春恒例
**JAZZ LIFE
DISC GRAND PRIX**
ALBUM OF
THE YEAR 2014 発表!
本誌レビュー陣の
マイ・ベスト・アルバム 2014

アマチュア奏者のためのモダン・ジャズ入門

ブッカー・リトル

ハード・バップの新たな可能性を拓いたトランペッター

特集：歌を支えるギター職人

ギターと歌の DUO空間

マーティン・テイラー
ジョー・パス

Interview & Live Report

国府弘子

神保 彰

小沼ようすけ

大坂昌彦

土岐麻子

DIMENSION

クレモンティーヌ

渡辺貞夫オーケストラ

上原ひろみ

ザ・トリオ・プロジェクト

田中菜緒子

森岡“マレーネ”典子

Jazz Topics

ブルーノットの飯英達によるスーパー・グループ Our Point of View 登場!

ヴァンガード・ジャズ・オーケストラ=クリニック

セルマー・バリ 創立130周年アニヴァーサリー・モデル

テイラー・ギター・ニュー800シリーズ

楽器フェアで見つけた最新ギター&ベース・エフェクター

話題のループステーション、BOSS RC-1を試す

2015
FEBRUARY

2

【スコア】

シカゴ・ソング

デイヴィッド・サンボーン

ビー・ティーズ・マイナー・ブレイ

ブッカー・リトル

ソフィスティケイテッド・レディ

マーティン・テイラー

ブルームディド

パーカー/ガレスピー/モンク

魅惑されて

ブラッド・メルドー(ジャズ・ドリル)

ニアネス・オブ・ユー

スタンダード・ベース講座II

オレオ

ジャズ・トランペット入門

チュニジアの夜

ジャズ・ギター・ソングブック

(新着輸入盤/海外盤)

Timeless Wendy Moten



Woodward Avenue
Records
88295-03559



自ら主宰するWoodward Avenueレーベルからのヴォーカリスト、ウェンディ・モテンの最新作。彼女は、1990年代には日本でも知られる存在のR&B系歌手だったが、最近では裏方としての仕事が目立った様子。プロデューサーにポール・ブラウンを迎え、デイヴ・コース、ブライアン・ブロンバークら大物ゲストの参加を得てのチャード・ホワイティング(1891-1938)名曲集。1920年から30年代に書かれたヒット曲をフレッシュな感覚で採り上げている。例えばビリー・ホリデイで知られる「ミス・ブラウン・トゥー・ユー」では口笛も挿んで軽快に歌う。(小川浩)

- 1. My Ideal 2. Miss Brown to You 3. When Did You Leave Heaven? 4. He's Funny That Way 5. Too Marvelous for Worlds 6. Guilty 7. I Wanna Go Places and Do Things 8. I Can't Escape from You 9. True Blue Lou 10. It's a Long Time Between Kisses
- Wendy Moten(vo) Dave Koz(sax) Paul Brown(g) Tommy Kay(g) Tracy Carter(p) Mitchel Forman(p) Brian Bromberg(b) Roberto Vally(b) Sinclair Lott(ds)
- Produced & Recorded by Paul Brown

Keys Melanie Dahan



Backstage
Production
BACKPROD3103



ファースト・アルバムではブラッサンスやスガロの「シャンソン」を、セカンド作では「ラテン」をテーマにしてきたフランスの才媛ジャズ・ヴォーカリスト、メラニー・ダハンの最新作。今回は「鍵盤」がテーマ。と言ってもダハンがピアノを弾くわけではなく、トーマス・エンコ、バプティスト・トロティニョンら5人の俊英ピアニストがそれぞれ2曲ずつ参加、編曲も彼らが担当する企画。ダハンの清楚な声質を生かした歌唱も素敵だが、時にスキットでピアニスト達と対等に迫る意欲的な展開にも注したい。ピアノ愛好家にも聴き逃さない作アルバム。(小川浩)

- 1. Whisper Not 2. I'm Through With You 3. Poor Butterfly 4. Dedicated To You 5. Beautiful Love 6. Everytime We Say Goodbye 7. Some Other Time 8. Star Eyes 9. What's New 10. Never Said (Chan's Song)
- Melanie Dahan(vo) Thomas Encho(p/1,10) Baptiste Trotignon(p/2,6) Manuel Rocheman(p/3,8) Frank Amsellem(p/4,7) Pierre de Bethmann(p/5,9) Thomas Braemerie(b) Lukmil Perez(ds)
- Recorded at Studio Sexton, Malakoff, France Oct. 2013

Change Partners Champion Fulton



Cellar Live Records
CL050114



ヴァーナス・レコードにもリーダー作として残しているピアノ&ヴォーカルのチャンピオン・フルトンによる最新第5作。この「Cellar Live」レーベルを主催するテナー・サクソ奏者コリー・ウィーズのプロデュースで、彼も演奏に参加。その彼と、フルトンのレギュラー・トリオ、女性ベース奏者ジョディ・プロツニックとジュリアン・マクドノー4人によるクアルテット編成。①のフランク・ウェス、彼女の父親ティーンズの書いたインスト曲⑤を除く彼女の弾き語りで魅了する。男性的で思切りの良いピアノ演奏と仄かな色気の語口のヴォーカルの対比が面白い。(小川浩)

- 1. You Made A Good Move 2. Change Partners 3. Lover, Come Back To Me 4. The Boy Next Door 5. Bring Enough Clothes For Three 6. After You've Gone 7. Sin To Tell A Lie 8. Social Call 9. Get Out Of Town
- Champion Fulton(p,v) 2,4,6-9) Cory Weeds(ts) Jodi Proznick(b) Julian MacDonough(ds)
- Recorded live at The Yardbird Suite Edmonton, Alberta Canada May 2&3, 2014

Released / Verbiest Meets Monk Rony Verbiest



September Records
5173



ベルギーのアコーディオン奏者であり、トリオン・サクソも演奏するロニー・フルビエの最新アルバムは、セロニアス・モンクの息子、T.S.モンクも参加し、ベルギーのギター、ベース奏者とのクアルテット編成での演奏だ。①では、アコーディオンによる古いシャンソンを思い起こすメロディが「モンクス・ムード」に、②⑦ではビアンソ風のタンゴにモンク曲が変身するなど興味深い展開を見せる。③⑤でのバリトン・サクソによるソフトなサウンド、⑧でのハーモニカも表情豊かにモンクを奏でる。異色だが心に残るモンク曲集。(小川浩)

- 1. Monk's Mood 2. Straight No Chaser 3. Ask Me Now 4. In Walked Bud 5. Round Midnight 6. Ruby My Dear 7. Well, You Needn't 8. Ugly Beauty 9. Blue Monk
- Rony Verbiest(accord,b-sax,hca) Hans Van Oost(g) Mario Vermandel(b) T.S. Monk(ds)
- Recorded at Ace Studio Aartselaar, Belgium Jan. 2014

Modern Art Don Cherry



Mellomen
MELOCD-034



1977年1月、ストックホルム近代美術館におけるドン・チェリーのライブ集がリリースされた。現地のカメラマンが残したルボックスによる2トラック・テープ音源を発掘したもので、一部バランスが良くない箇所もあるが、音質はクリアで臨場感もあり、鑑賞に問題はない。前年12月、7トランティックヘフュージョン・テイスの「ヒア&ナウ」を録音したばかりで、ここでも、④⑥⑦⑧⑩の「ヒア&ナウ」からの選曲。そのフュージョン作の重厚なサウンドとは異なるプロトタイプを聴くようで、新鮮な発見がある。貴重な未発表録音で充実の内容。(小川浩)

- 1. Love Train 2. Awareness 3. Meditation 4. Universal Mother 5. Que Faser 6. Eagle Eye 7. Karmapa Channo 8. Mahakali (Except) 9. Ornetunes 10. California 11. Desireless 12. Marima, Goddess of Music 13. Chenrezig
- Don Cherry(pocket-tp,vo,fl,p,perc) Tommy Koverhult(fl) Georg Wadenius(g) Torbjorn Hultcrantz(b) Bronislav Suchanek(b) Moki Cherry(tamboura) Peter Ek(tablas) Per Tjermberg(perc)
- Recorded live at the Museum of Modern Art, Stockholm, Jan 16, 1977

A Tribute to Wayne Shorter Dave Liebman Big Band



MAMA Records
1047



2013年の生誕80年を記念して、いくつかのウェイン・ショーター(ts,ss)へのトリビュート・アルバムが発売されたが、その真打ちと言える大作が登場した。2000年から、散発的に活動しているデイヴ・リーブマン・ビッグバンドが、ショーターの60年代のクラシック曲に新たな命を吹き込む。編曲を担当したのは、スウェーデン出身のマット・ホルムクイスト。ステイヴ・ライヒらの影響下にあるミニマリズムにのっつた、ショーターのオリジナルの独特の間を生かしたアレンジの上で、リーブマンのソプラノ・サクソスが縦横無尽に踊る。(常盤武彦)

- 1. Infant Eyes 2. Speak No Evil 3. Yes or No 4. Nefertiti 5. El Gaucho 6. Iris 7. Black Nile
- Dave Liebman(ss,wood fl) Gunnar Mossblad(dr,as,ss,fl) Tom Christensen(as,fl) Dave Riekenberg(ts,fl,cl) Tim Ries(ts,cl) Chris Katic(bs,cl) Bob Millikan(tp,fl) Brian Pareschi(tp,fl) Dave Ballou(tp,fl) Danny Cahn(tp,fl) Patrick Dorian(tp,fl) Tim Sessions(tb) Scott Reeves(tb,al-fl) Jason Jackson(tb) Jeff Nelson(tb) Jim Ridl(p) Vic Juris(g) Tony Marino(b) Marko Marcinko(ds) Mats Holmquist(arr)
- Recorded by Sean Kelly at Water Music Hoboken, NJ on Feb. 2&3, 2014

Intents and Purposes Rez Abbasi Acoustic Quartet



enja
ENJ69621 2



パキスタン出身で南カリフォルニアで育ったギター奏者Rez Abbasiは、ウィジェイ・アイヤー(p)やルドレッシュ・マンサバ(as)ら、インド系ニュー・ウェイヴで語られるアーティストだ。70年代のジャズ・ロック(フュージョン)の影響からは無縁だったアバシが、現在の感性で100枚以上のアルバムを聴き、アコースティックに換骨奪胎したのが、このセレクションだ。オリジナルへの先入観はなくとも、そのエッセンス、スピリットを見事に捉えている。単なるフュージョン・クロニカルではおさまらない、時代を超えた普遍性が収録曲に宿る。(常盤武彦)

- 1. Black Market 2. Butterfly 3. Joyous Lake 4. Medieval Overture 5. Resolution 6. Red Baron 7. Low-Lee-Tah 8. There comes a Time
- Rez Abbasi(steel strings,fretless & baritone ac-g) Bill Ware(vib) Stephan Crump(b) Eric McPherson(ds)
- Recorded by Michael Marciano at Systems Two Recording, Brooklyn, NY on April 24 & 25, 2014

Dance with The Lady Johnny Griffith



GB Records
CD番号なし



カナダのトロントをベースに活躍するサクソ奏者、ジョニー・グリフィスの、2013年に結成したニュー・クインテットによるデビュー・アルバム。グリフィスによるカナダのグラミー賞といえるジュノー賞に、複数回ノミネートされている実力者だ。複数のシーンで活躍するリズム・セクションに、ニューヨークからジェレミー・ベルトを迎え、全曲オリジナルで、ハード・バップ魂が炸裂する。オスカー・ピーターソン(p)やギル・エヴァンス(arr,p,kb)を輩出したカナダの、新たなムーヴメントの予感を感じさせる好アルバムである。(常盤武彦)

- 1. The Zissou Predicament 2. Princess Aura Goes To Phrygia 3. Syrah 4. The Kuleshascope 5. The Kuleshascope 6. The Mile Walk 7. Dance With The Lady 8. Cinders 9. That Night (Under The Bench) .. So Long Ago
- Johnny Griffith(as,ts) Jeremy Pelt(tp) Andrian Farrugia(p) Jon Maharaj(b) Ethan Ardeli(ds)
- Recorded by Stew Crookes at Noble Street Studios Toronto Canada on August 15 & 16, 2014